

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

平成最後のリーブオーダーはりそなグループで
 お願い致します (P2)

チーフカスタマーディーラー
 井口 慶一

来週のドル円予想レンジ **111.00 ~ 113.10**

りそなWEEKLY COLUMN

物価からみる日本社会のキーワード (P3)

エコノミスト
 村上 太志

- 価格が上昇している品目をみると日本社会のキーワードが見えてくる
- 円安、異常気象、人手不足、ネット通販、インバウンド etc.

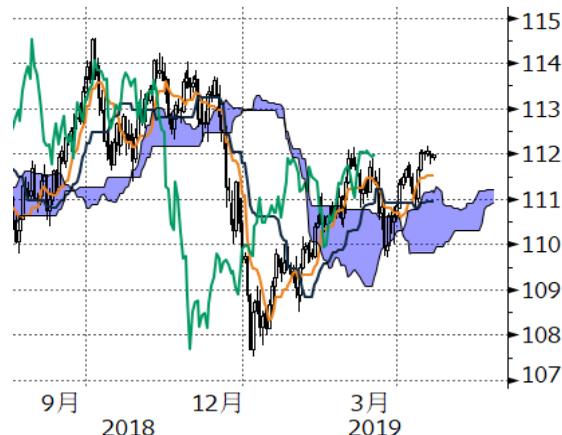
りそな外為レポート

平成最後のリープオーダーはりそなグループでお願い致します。

今週のドル円予想レンジ **111.00 ~ 113.10**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行日当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表 (日足)



◆為替相場のすすめ

今週末は史上初の10連休。連休と言うと1月3日のアップルショックに伴うドル円急落が記憶に新しい。しかも今回はFOMCや米雇用統計、アップル等の決算発表などビッグイベントが予定されており、「万が一」に備えてヘッジはとても重要。スワップも平成を懐かしむ番組で「大相場の到来とリスクヘッジの重要性」を指摘していました。『きっと想像した以上に騒がしい未来が僕を待ってる。“ヘッジしてる”の響きだけで強くなれる気がしたよ。ささやかな喜びをつぶれるほど抱きしめて♪』。備えあれば憂いなし。輸出の方も輸入の方もまずは手堅く「為替予約ヘッジ」を入れておきましょう。りそなで。

ピンチの後にチャンスあり。守りを固めたら次はリープオーダーで攻めのヘッジが有効。日本人不在の薄商いの中、上下どちらか分からないが、システムトレードがキーワードに発動して「令和ショック」を引き起こす可能性はゼロではない。「平成最後のリープオーダー」は是非りそなグループでお願い致します。
(チーフカスタマーディーラー 井口慶一)

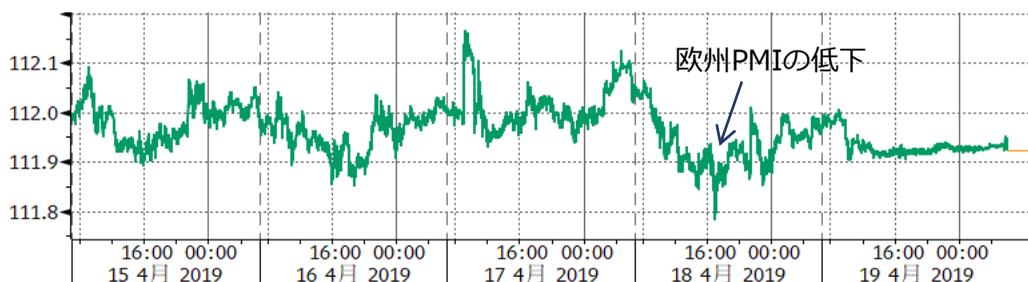
◆今週・来週の日程

25日 (木)	日	日銀金融政策決定会合	30日 (火)	中	4月PMI
26日 (金)	日	3月鉱工業生産	30日 (火)	欧	19/1Q GDP暫定速報
26日 (金)	米	19/1Q GDP速報	1日 (水)	米	FOMC
26日 (金)		日米首脳会談	1日 (水)	米	4月ISM製造業指数
28日 (日)	西	スペイン総選挙	3日 (金)	米	4月雇用統計

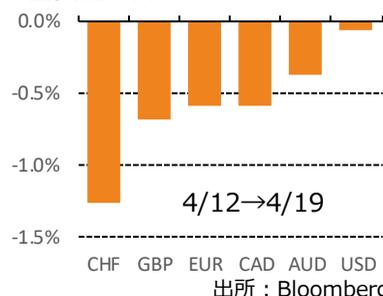
◆今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 19日(金) 111.92円 VS 26日(金)

東京												大阪			埼玉			
尾	中	湊	井	鳥	田	関	藏	加	佐	小	村	鈴	武	野	小	津	石	伊
股	根		口	井	中	口	重	藤	藤	池	永	木	富	瀬	林	田	井	藤
↑	↓	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↓	シンガポール研修中	↑

◆先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

りそな WEEKLY COLUMN

物価からみる日本社会のキーワード

- 価格が上昇している品目をみると日本社会のキーワードが見えてくる
- 円安、異常気象、人手不足、ネット通販、インバウンド etc.

エコノミスト 村上 太志

GW前に世間で繰り返られる会話

いよいよ今週末、ゴールデンウィークの10連休が到来する。世間ではこのような会話が繰り返られ世のお父さんを悩ませるのかもしれない。

「お父さん、どこか遊びに行きたい！」

「仕方ないな、どこ行きたい？」

「●●ランド（某夢の国）連れて行って！」

（筆者は独身のためこのような会話は完全に想像である）

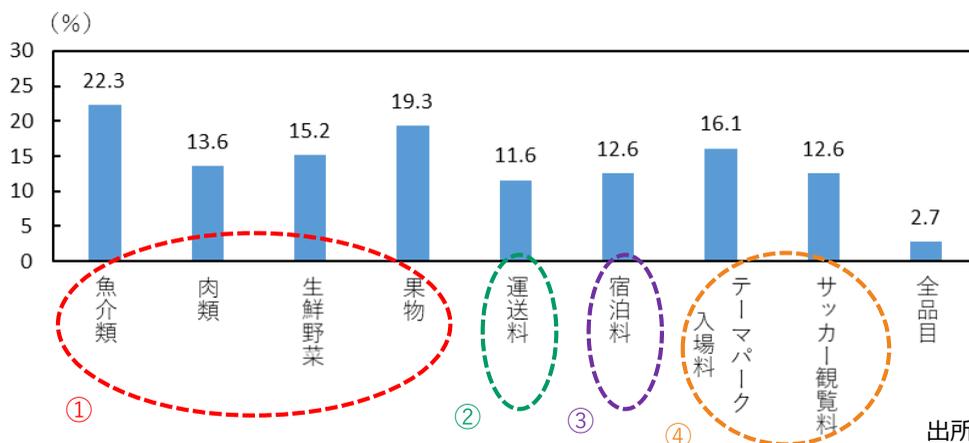
おもむろに了承して下調べを始めるお父さん。そこで価格を見て驚きの声「こんなに高かったのか…」と。夢の国の1dayパスポートの価格は大人7,400円、10年前の水準（5,800円）から30%近くも値上がりしている。

物価が年2%以上のペースで上昇している品目

日銀は物価が2%あがらないと知恵を絞ってあらゆる金融緩和策を繰り返しているが、世間ではそのような実感はなくむしろ物価が上がっていると感じることも多い。世の中の全てのモノやサービスの値段が上がっていない訳ではなく、一部品目は確実に値上がりしている。日銀が2%の物価安定目標を掲げた2013年から昨年までに10%（年2%）以上物価が上がっている品目をいくつかあげると図表1のとおりである。

物価は日本社会の状況を如実に映し出す。これらの品目をみていくと今の日本社会のキーワードがいくつか見えてくる。

図表1：5年間で物価が10%以上上昇した主な品目（消費増税の影響は除く）



出所：総務省

りそな WEEKLY COLUMN

価格上昇の背景から日本社会のキーワードがみえてくる

これらの品目は価格が上昇している背景ごとにいくつかに分類できる。

① 食品

価格上昇の背景を考えるとまずは**円安**である。2013年初に86円台だったドル円レートは足元112円台をつけている。輸入割合が高い肉類や魚介類、果物は円安から価格上昇につながっている。加えて、世界的な人口増加や経済発展による食糧需要増も価格上昇の背景にあろう。さらに生鮮野菜や果物には、**頻発する異常気象**による生産のブレも影響している。食品値上げは家計を直撃するため、物価が上がっているとの実感はここからくるものが大きいだろう。

② 運送料

運送料が値上がりしている背景のキーワードは**人手不足**と**ネット通販の増加**だろう。大手運送会社が約2年前に配送ドライバーの労働環境の過酷さを背景として値上げを行ったことは記憶に新しい。ネット通販の拡大により宅配便の需要が急拡大するなか、労働条件改善によりドライバーを確保するため、運賃値上げに踏み切ることとなった。

③ 宿泊料

宿泊料値上がりの背景は**インバウンド**の増加である。円安や政府主導の誘致施策により海外からの訪問客数は年々増加している。特に最近人気の大阪やアジアから近い福岡等ではホテル不足が顕著になり、価格が高騰している。

④ 娯楽

冒頭にも話題に出したテーマパーク入場料などの特徴をあげると**コト消費**といえる。最近の若者の消費傾向として自動車や時計といったステータスには興味を示さない一方、体験型の消費には出費を惜しまないとも言われる。しかし、すべての娯楽品目の価格が上昇しているわけではない。例えば、ゴルフプレー料金は5年間で▲4.7%値下がりしている。サラリーマンの付き合いとしての性格も強いゴルフの需要が下がり、家族で楽しめるテーマパークやスポーツ観戦の需要が増していることは、**会社中心から家庭重視という日本のサラリーマンの働き方の変化**を表しているかもしれない。

結局、お父さんは…

冒頭のお父さんは「よし行こう」と笑顔で答えて、家族サービスに勤しむのも日本社会の姿であれば、「●●ランドは混んでるよ、家でゲームをしよう」とネット通販で新発売のゲームを購入するのもまた日本社会の姿である。一方、「大事なゴルフがあるからまた今度！」と答えるお父さんが減っていることは間違いないだろう。